

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ 全体まとめ

地区	形原地区	回数	第5回
日時	2023年2月26日(日) 13:30-16:30		
参加人数	24名		

1. 地区の将来にとってふさわしい案

(1) 全体に共通すること

形北小学区は、全ての案で保育園、小学校、児童クラブが同一敷地にあり、保護者にとって都合がよい。

- ・形北小のエリアにおいては、すべての案において、形北小と児童クラブ、保育園が同一敷地にあるのは保護者にとっても都合が良い。

形原南保育園は送迎が大変だったので、廃園となることは致し方ない。

- ・形原南は送迎が大変であったため、どの案でも廃園となっていて致し方なし。
- ・形原南保育園が廃止され形原保育園に統合されてもあまり影響はない。(送迎の不自由さを感じる人も多くはなさそうな気がする)

保育園は、未満児が増えているので交流は難しいのではないかな。

- ・保育園は少子化の為に各年齢の人数が減り、未満児が増えているため交流はむずかしいのではないだろうか。

形原小と形北小で、どちらも保育園、小学校、児童クラブが同一敷地になっている案は、不公平感もなく配置のバランスが良いことを評価に加えたい。

- ・形原小及び形北小のどちらも小学校と児童クラブ、保育園が同一敷地になっており、機能が同じ組み合わせになっていることが不公平感もなく配置のバランス面でも良いことを評価につなげてはどうか。

小学校に公民館機能があることで世代間交流や部活動の補完が期待できる。

- ・小学校に公民館機能があることで、世代間の交流などが進むことが期待できる。
- ・廃止となる部活動を補完する形で公民館活動と学校の連携が密になることは好ましい。

公民館はドラッグスギヤマ東側へ新設することもありうるのではないかな。

- ・公民館の位置に関しては、エリアの中心性を考えることが重要であるため、中学校の位置もよいが、ドラッグスギヤマの東側へ新設もありうるのではないだろうか。

保育園と児童クラブが同一敷地にあるメリットは一人っ子世帯では、あまりないのではないかと。どこまで重視するか。

- ・保育園と児童クラブが同じ敷地にあることによるメリットはどこまで重視されるのか？ 保育園児と小学生の兄弟姉妹がいる保護者にとってはメリットであるが、子どもが一人だけの保護者などからするとさほど不便ではないのでは？

(2) A案

【期待すること・選択した理由】

適正規模にある小学校を移転する必要はなく、現状を維持するのが良い。

- ・適正規模にある小学校を移転する必要はない。現状を維持するのが良い。(A、B、B1 案共通)

保育園と中学校、保育園と小学校がまとまることで、年齢の違う子ども同士が生活や教育態度を学び合うことができる点で良い。

- ・保育園と中学校、保育園と小学校の場所がまとまることにより、年齢の違う子ども同士が生活・教育態度を学び合うことができる点でふさわしい。

双太山公園にある児童館は景観や環境が良いので今の場所が良い。

- ・現在の双太山公園にある児童館は景色がよく環境も良いので、今の場所がよい。(A、B、B1、D 案共通)

【懸念・付帯事項】

中学校と保育園が集合し駐車場にゆとりが出ることは都合がよいが、保育園と児童クラブが離れている点はマイナス要素となる。

- ・中学校と保育園が一緒になっていると、現在よりも駐車場にゆとりが出るのが想定されるので、保護者にとっては都合が良いが、保育園と児童クラブが離れているのがマイナス要素となる。

保育園児と中学生は年齢が離れすぎているのが不安なので、我慢を強いけない程度の利用時間の棲み分けなどが必要。

- ・異年齢交流として、中学生と保育園児は離れすぎている不安があるので、利用時間のすみ分けやエリアのすみ分けが、我慢を強いけない程度ならばよい。

公民館は高潮の危険はあるものの、建設して日が浅いので現状の位置で良い。

- ・現公民館は高台に移転する方向性は良いが、現実的に建設してからあまり時間が経っておらず、高潮の危険性はあるものの、まだ新しいので現状の位置でよい。(A、B、D 案共通)

公民館が移転しないならば、防災に関する情報を正しく周知するための工夫が必要。

- ・公民館が移転しないのであれば、防災面での連携を周知するための工夫が必要。回覧板だけでは周知されていないので、保育園や小学校を通じて各家庭に災害時の避難場所や避難経路についてなど周知する必要がある。(地域避難所と一時避難所の違いなど) (A、B、D 案共通)

(3) B案

【期待すること・選択した理由】

適正規模にある小学校を移転する必要はなく、現状を維持するのが良い。

- ・適正規模にある小学校を移転する必要はない。現状を維持するのが良い。(A、B、B1 案共通)

形原小、形北小を地域の拠点と位置づけ、どちらも保育園、小学校、児童クラブが同一敷地にあるので、不公平感もなく配置のバランス面も良い。

- ・形原小及び形北小のどちらも小学校と児童クラブ、保育園が同一敷地になっており、機能が同じ組み合わせになっているので不公平感もなく配置のバランス面でも良い。(B、B1 案共通)
- ・歩きで通う小学校・児童クラブ・保育園が集合する拠点が形原小と形北小の2カ所になり、地区内の拠点配置として偏りがなくバランスがよい。(B、B1 案共通)
- ・小学校を地域のまとまりの拠点とするのが良い。(B、B1 案共通)

保育園、小学校、児童クラブという世代の近い子どもが集まることは、形原地域の子どもが育つ環境として良い。

- ・小学校～児童クラブ～保育園という世代の近い子ども達が集まる組み合わせは形原地域全体の子育て環境にも良いのではないかと。(B、B1 案共通)
- ・保育園と小学校が複合化するのが良い。小学校に入学する際に環境が変わるので、同じ敷地にあることで子どもが安心できる。(B、B1、C、C1 案共通)
- ・小学校と保育園が一緒だと子どもの交流が促され、入学時の負担も少ない。(B、B1 案共通)

保育園、小学校、児童クラブが同一敷地にあり、お迎えが一か所で済むため親の負担が減る。

- ・保育園と小学校、児童クラブが一緒にあることで保護者のお迎えが1か所で済むのが良い。(B、B1、C、C1 案共通)
- ・保育園と小学校が複合化することで、保護者の送迎が1か所で済む。同時に交通整理もしやすくなる。(B、B1、C、C1 案共通)
- ・小学校・児童クラブ・保育園が同じ敷地でセットになって、兄弟の送迎など親の負担が少なくなる。(B、B1、C、C1 案共通)
- ・形原小も形原北小も周辺道路の状況がよく、車で送迎しやすいため、小学校と保育園が隣接していることで送迎の負担が軽減される。(B、B1 案共通)

災害時を想定すると、保育園と小学校が分散されているより同一敷地にある方が安心できる。

- ・災害が発生したときに、子どもが保育園と小学校に分散されてしまうよりは1か所にまとまっている方が安心できる(お迎えも1か所で済む)(B、B1、C、C1 案共通)

形北小学区は人口が増えているが形原小学区はさほど増加していないので、保育園と複合しても敷地に収まるだろう。

- ・人口は形北小学区の方が増えており、形原小学区はさほど増加していない。保育園と複合しても問題ないだろう。(B、B1 案共通)

公民館は高潮の危険はあるものの、建設して日が浅いので現状の位置が良い。

- ・現公民館は高台に移転する方向性は良いが、現実的に建設してからあまり時間が経っておらず、高潮の危険性はあるものの、まだ新しいので現状の位置でよい。(A、B、D 案共通)

双太山公園にある児童館は景観と環境が良いので今の場所が良い。

- ・現在の双太山公園にある児童館は景色がよく環境も良いので、今の場所がよい。(A、B、B1、D 案共通)

中学校周辺が整備されることで、周辺の住宅地の有効利用や活性化が図られる。

- ・中学校周辺が整備され、道路もきれいになり、下水も利用できるようになれば、周辺の住宅地の有効利用や活性化がはかれる。(B、B1 案共通)

【懸念・付帯事項】

形原小の敷地に施設が収まるよう、さまざまな工夫をしてほしい。

- ・狭い形原小敷地にうまく複数の施設が入るように様々な工夫を検討してほしい。(B、B1 案共通)
- ・なお、最近民間プールが一つ閉鎖してしまったので、プール授業を外部で行って敷地に余裕を持たせることは将来的に難しいのかもしれない。(B、B1 案共通)

形原小と保育園の複合は駐車場不足が懸念されるが、支所跡地を駐車場として利用することで解消するだろう。

- ・形原小の敷地に機能を詰め込むことで、駐車場スペースが少なくなるのではないかとの指摘もあるが、駅前の支所跡地を駐車場用地として活用すれば解消するのではないか。(将来的な跡地利用の検討材料としてほしい) (B、B1 案共通)
- ・旧支所跡地を駐車場として利用することをセットに考えることを条件に敷地内に収めることができるのではないだろうか。(B、B1 案共通)

保育園の送迎、登下校時などを想定し、形原小周辺の交通安全についてしっかり対策してほしい。

- ・形原小敷地の周辺道路はほとんど歩道がないうえ、保育園の送迎で車の出入が増えるとなると、交通安全の面が心配である。(B、B1 案共通)
- ・形原小敷地周辺の交通安全をしっかり対策してほしい。例えば、登下校時に交通誘導員の配置、歩道を拡幅、御嶽交差点の改良(計画あり)など。(B、B1 案共通)
- ・形原小敷地は狭いけれど、保育園の送迎車両が安全に出入できるよう工夫してほしい。(B、B1 案共通)

公民館は高潮の危険はあるものの、建設して日が浅いので現状の位置で良い。

- ・現公民館は高台に移転する方向性は良いが、現実的に建設してからあまり時間が経っておらず、高潮の危険性はあるものの、まだ新しいので現状の位置で良い。(A、B、D 案共通)

公民館が移転しないならば、防災に関する情報を正しく周知するための工夫が必要。

- ・公民館が移転しないのであれば、防災面での連携を周知するための工夫が必要。回覧板だけでは周知されていないので、保育園や小学校を通じて各家庭に災害時の避難場所や避難経路についてなど周知する必要がある。(地域避難所と一時避難所の違いなど) (A、B、D 案共通)

(4) B1案

【期待すること・選択した理由】

適正規模にある小学校を移転する必要はなく、現状を維持するのが良い。

- ・適正規模にある小学校を移転する必要はない。現状を維持するのが良い。(A、B、B1案共通)

形原小、形北小を地域の拠点と位置づけ、どちらも保育園、小学校、児童クラブが同一敷地にあるので、不公平感もなく配置のバランス面も良い。

- ・形原小及び形北小のどちらも小学校と児童クラブ、保育園が同一敷地になっており、機能が同じ組み合わせになっているので不公平感もなく配置のバランス面でも良い。(B、B1案共通)
- ・歩きで通う小学校・児童クラブ・保育園が集合する拠点が形原小と形北小の2カ所になり、地区内の拠点配置として偏りがなくバランスがよい。(B、B1案共通)
- ・小学校を地域のまとまりの拠点とするのが良い。(B、B1案共通)

保育園、小学校、児童クラブという世代の近い子どもが集まることは、形原地域の子どもが育つ環境として良い。

- ・小学校～児童クラブ～保育園という世代の近い子ども達が集まる組み合わせは形原地域全体の子育て環境にも良いのではないかと。(B、B1案共通)
- ・保育園と小学校が複合化するのが良い。小学校に入学する際に環境が変わるので、同じ敷地にあることで子どもが安心できる。(B、B1、C、C1案共通)
- ・小学校と保育園が一緒だと子どもの交流が促され、入学時の負担も少ない。(B、B1案共通)

保育園、小学校、児童クラブが同一敷地にあり、お迎えが一か所で済むため親の負担が減る。

- ・保育園と小学校、児童クラブが一緒にあることで保護者のお迎えが一か所で済むのが良い。(B、B1、C、C1案共通)
- ・保育園と小学校が複合化することで、保護者の送迎が一か所で済む。同時に交通整理もしやすくなる。(B、B1、C、C1案共通)
- ・小学校・児童クラブ・保育園が同じ敷地でセットになって、兄弟の送迎など親の負担が少なくなる。(B、B1、C、C1案共通)
- ・形原小も形原北小も周辺道路の状況がよく、車で送迎しやすいため、小学校と保育園が隣接していることで送迎の負担が軽減される。(B、B1案共通)

災害時を想定すると、保育園と小学校が分散されているより同一敷地にある方が安心できる。

- ・災害が発生したときに、子どもが保育園と小学校に分散されてしまうよりは1か所にまとまっている方が安心できる（お迎えも1か所で済む）（B、B1、C、C1案共通）

形北小学区は人口が増えているが形原小学区はさほど増加していないので、保育園と複合しても敷地に収まるだろう。

- ・人口は形北小学区の方が増えており、形原小学区はさほど増加していない。保育園と複合しても問題ないだろう。（B、B1案共通）

公民館が中学校に移転すると多世代交流が活発になり防災面でもより安全な場所になる。

- ・公民館は中学校敷地に移転して多世代交流が活発になると同時に、防災面でもより安全な場所になる。
- ・公民館を形原中学校敷地へ移転することが良い。

高潮の危険だけでなく、小中学校の部活動の廃止問題を考えると、学校と地域との交流は待たないため、公民館は耐用年数を待たず早期に移転した方が良い。

- ・耐用年数を待たずとも公民館の移動は早い方がよい。高潮の心配だけではなく、小中学校の部活動の廃止問題を考えると、公民館活動等地域との交流は待たないではないかと考える。（B1、C1案共通）

双太山公園にある児童館は景観と環境が良いので今の場所が良い。

- ・現在の双太山公園にある児童館は景色がよく環境も良いので、今の場所がよい。（A、B、B1、D案共通）

中学校周辺が整備されることで、周辺の住宅地の有効利用や活性化が図られる。

- ・中学校周辺が整備され、道路もきれいになり、下水も利用できるようになれば、周辺の住宅地の有効利用や活性化がはかれる。（B、B1案共通）

【懸念・付帯事項】

形原小の敷地に複数の施設が入るよう、さまざまな工夫をしてほしい。

- ・狭い形原小敷地にうまく複数の施設が入るように様々な工夫を検討してほしい。（B、B1案共通）
- ・なお、最近民間プールが一つ閉鎖してしまったので、プール授業を外部で行って敷地に余裕を持たせることは将来的に難しいのかもしれない。（B、B1案共通）

形原小と保育園の複合は駐車場不足が懸念されるが、支所跡地を駐車場として利用することで解消するだろう。

- ・形原小の敷地に機能を詰め込むことで、駐車場スペースが少なくなるのではないかとの指摘もあるが、駅前の支所跡地を駐車場用地として活用すれば解消するのではないか。(将来的な跡地利用の検討材料としてほしい) (B、B1 案共通)
- ・旧支所跡地を駐車場として利用することをセットに考えることを条件に敷地内に収めることができるのではないだろうか。(B、B1 案共通)

保育園の送迎、登下校などを想定し、形原小周辺の交通安全についてしっかり対策してほしい。

- ・形原小敷地の周辺道路はほとんど歩道がないうえ、保育園の送迎で車の出入が増えるとなると、交通安全の面が心配である。(B、B1 案共通)
- ・形原小敷地周辺の交通安全をしっかり対策してほしい。例えば、登下校時に交通誘導員の配置、歩道を拡幅、御嶽交差点の改良(計画あり)など。(B、B1 案共通)
- ・形原小敷地は狭いけれど、保育園の送迎車両が安全に出入できるよう工夫してほしい。(B、B1 案共通)

行事時に駐車場が足りていないので中学校周辺地域の整備が必要だろう。

- ・現状行事等で駐車場が足りていないので、中学校周辺地域の整備が必須になるのではないだろうか。

中学校敷地に公民館を複合する際は、周辺地域や周辺道路からの導線も整備する必要がある。

- ・中学校敷地に公民館を複合させる段階では、周辺地域の整備・周辺道路からのアクセスも一緒に整備してほしい。

公民館が移転した際に現在と同程度の駐車場スペースの確保が必要だ。

- ・現在の公民館は広い駐車場スペースがあり、利用率も高い。移転した際に同様の駐車場スペースが確保できるかどうか心配。(B1、C、C1 案共通)

中学校周辺は敷地拡大する余地があるので、児童館の集合も考えてもよいのではないか。

- ・中学校周辺地域はまだ公共の敷地として整備を拡大できる余地もあるため、耐用年数を待っているうちに、公民館だけでなく児童館も集合させる等の可能性を考えてもよいのではないだろうか。

(5) C案

【期待すること・選択した理由】

保育園、小学校、中学校が1か所に集まることで多世代交流に期待できる。

- ・保育園から中学校が1か所に集まることで多世代交流の拠点となることが期待できる。(C、C1案共通)
- ・保育園、小学校、中学校が1か所に集まり、多世代交流が活発に期待できる。(C、C1案共通)

形北小、中学校の2か所で多世代交流拠点ができ、二元的な機能の発揮が見込まれる。

- ・形北小敷地と、中学校敷地の2か所で多世代との交流拠点が実現し、交流等の二元的な機能の発揮が見込まれる(C、C1案共通)

機能集約によって、高齢者と子どもの交流が生まれる点が評価できる。

- ・機能集約によって、高齢者と子どもの交流が生まれる点が評価できる(C、C1案共通)
- ・公民館と児童館が同じ敷地になるならば、子どもから高齢者まですべての世代が集まる拠点ができる。子どもとお年寄りだけでなく、中学生・高校生、若い親なども集まる魅力的な多世代拠点にしてほしい。(C、C1案共通)

保育園、小学校、児童クラブという世代の近い子どもが集まることは、形原地域の子どもが育つ環境として良い。

- ・保育園と小学校が複合化するのが良い。小学校に入学する際に環境が変わるので、同じ敷地にあることで子どもが安心できる。(B、B1、C、C1案共通)

保育園、小学校、児童クラブが同一敷地にあり、お迎えが一か所で済むため親の負担が減る。

- ・保育園と小学校、児童クラブが一緒にあることで保護者のお迎えが1か所で済むのが良い。(B、B1、C、C1案共通)
- ・保育園と小学校が複合化することで、保護者の送迎が1か所で済む。同時に交通整理もしやすくなる。(B、B1、C、C1案共通)
- ・小学校・児童クラブ・保育園が同じ敷地でセットになって、兄弟の送迎など親の負担が少なくなる。(B、B1、C、C1案共通)

災害時を想定すると、保育園と小学校が分散されているより同一敷地にある方が安心できる。

- ・災害が発生したときに、子どもが保育園と小学校に分散されてしまうよりは1か所にまとまっている方が安心できる(お迎えも1か所で済む)(B、B1、C、C1案共通)

小学校と中学校の複合は教室の共有などコスト削減効果が得られる。

- ・小学校と中学校が複合化されることで、教室が共有できるなど校舎の効率的な活用ができる。(C、C1、D 案共通)
- ・小中学校を複合化することによる大きな改革や、それに伴うコスト削減効果が得られることは良い。(C、C1、D 案共通)

中学校敷地は広くて余裕があり、形原小周辺よりも交通安全対策を行いやすい。

- ・中学校敷地は広くて施設が集合する余裕がある。
- ・中学校の周辺道路は形原小周辺よりも交通安全が計られやすい。

公民館と児童館が複合化することで世代を超えた交流が生まれる拠点になる。

- ・同じ施設(敷地)に人が集うことで、自然と交流(出会い)が生まれることが期待できる。
- ・公民館と児童館が複合することで、未就園児と高齢者など、世代を超えた交流が生まれる。図書館機能が加わると更に良いと思う。
- ・公民館と児童館の複合で子育て世代の人が集まれる場所になることが期待できる。
- ・公民館と児童館が同じ敷地になるならば、子どもから高齢者まですべての世代が集まる拠点ができる。子どもとお年寄りだけでなく、中学生・高校生、若い親なども集まる魅力的な多世代拠点にしてほしい。
- ・多世代交流拠点では、中学生がボランティアで高齢者をサポートするなど交流が生まれやすい。
- ・機能集約によって、高齢者と子どもの交流が生まれる点が評価できる(C、C1 案共通)
- ・公民館と児童館が同じ敷地になるならば、子どもから高齢者まですべての世代が集まる拠点ができる。子どもとお年寄りだけでなく、中学生・高校生、若い親なども集まる魅力的な多世代拠点にしてほしい。(C、C1 案共通)

【懸念・付帯事項】

形北小の児童だけが中学校入学時に合流するのは良くないと思う。

- ・形北小の児童だけが中学校入学時に合流するのは良くないと思う。(C、C1、D 案共通)

形原北小学校の児童が中学校から合流する際に学校に馴染めるよう交流会などする必要がある。

- ・形原北小学校の児童が中学校から合流することになるので、その前に交流会をするなどして学校に馴染めるようにする必要がある。(C、C1、D 案共通)

小中一貫教育になった場合、形北小の児童が中学校から合流することで教育カリキュラムに差が出てしまうのではないかと不安があるので、そうならないようにする必要があります。

- ・仮に小中一貫教育になった場合、形北小が中学から編入することで教育のカリキュラムに差が出てしまうのではないかと不安があるのでそうならないようにしてほしい。(C、C1、D案共通)

雨天時など異年齢の子どもが体育館を共有する際に危険が生じないように工夫してほしい。

- ・雨天時などに中学生と小学生や保育園児が同じ体育館で運動することになるなら、体格差があつて危ないので、なんらかの工夫を行ってほしい。(C、C1、D案共通)

形原小が中学校敷地に移転すると、通学距離が遠くなる地区もあるので、対策が必要ではないか。

- ・形原小が現在の位置から移転することで、通学距離が遠くなってしまふような地区から、不公平感の声が出るかもしれない。(C、C1、D案共通)
- ・形原小が中学校敷地に移転すると、南端の小学生が歩いて通学するのが遠くなってしまふ。(C、C1、D案共通)
- ・高齢者による通学の見守りサポーターを充実させる。高齢者に見守りポイントを付与するなど。(C、C1、D案共通)
- ・形原小が中学校敷地に移転して遠くなる。少子化で遠くから小学生が一人で通うことにならないか心配である。(C、C1、D案共通)
- ・幸田町のようにスクールバスの運行を検討してほしい。(C、C1、D案共通)

保育園から中学校が複合化するので、災害時に世代を超えた助け合いができるようにする必要があります。

- ・保育園から中学校までが複合化するので災害時に誰がどう動くか？の訓練を日ごろからしっかり行っておく必要がある。中学生が保育園児を助けるなど、世代を超えて助け合えるように防災訓練を行っておくのが良い。(C、C1案共通)

公民館が移転した際に現在と同程度の駐車場スペースの確保が必要だ。

- ・現在の公民館は広い駐車場スペースがあり、利用率も高い。移転した際に同様の駐車場スペースが確保できるかどうか心配。(B1、C、C1案共通)

(6) C1案

【期待すること・選択した理由】

保育園、小学校、中学校が1か所に集まることで多世代交流に期待できる。

- ・保育園から中学校が1か所に集まることで多世代交流の拠点となることが期待できる。(C、C1案共通)
- ・保育園、小学校、中学校が1か所に集まり、多世代交流が活発に期待できる。(C、C1案共通)

形北小、中学校の2か所で多世代交流拠点ができ、二元的な機能の発揮が見込まれる。

- ・形北小敷地と、中学校敷地の2か所で多世代との交流拠点が実現し、交流等の二元的な機能の発揮が見込まれる(C、C1案共通)

機能集約によって、高齢者と子どもの交流が生まれる点が評価できる。

- ・機能集約によって、高齢者と子どもの交流が生まれる点が評価できる(C、C1案共通)
- ・公民館と児童館が同じ敷地になるならば、子どもから高齢者まですべての世代が集まる拠点ができる。子どもとお年寄りだけでなく、中学生・高校生、若い親なども集まる魅力的な多世代拠点にしてほしい。(C、C1案共通)

保育園、小学校、児童クラブという世代の近い子どもが集まることは、形原地域の子どもが育つ環境として良い。

- ・保育園と小学校が複合化するのが良い。小学校に入学する際に環境が変わるので。同じ敷地にあることで子どもが安心できる。(B、B1、C、C1案共通)

保育園、小学校、児童クラブが同一敷地にあり、お迎えが一か所で済むため親の負担が減る。

- ・保育園と小学校、児童クラブが一緒にあることで保護者のお迎えが1か所で済むのが良い。(B、B1、C、C1案共通)
- ・保育園と小学校が複合化することで、保護者の送迎が1か所で済む。同時に交通整理もしやすくなる。(B、B1、C、C1案共通)
- ・小学校・児童クラブ・保育園が同じ敷地でセットになって、兄弟の送迎など親の負担が少なくなる。(B、B1、C、C1案共通)

災害時を想定すると、保育園と小学校が分散されているより同一敷地にある方が安心できる。

- ・災害が発生したときに、子どもが保育園と小学校に分散されてしまうよりは1か所にまとまっている方が安心できる(お迎えも1か所で済む)(B、B1、C、C1案共通)

小学校と中学校の複合は教室の共有などコスト削減効果が得られる。

- ・小学校と中学校が複合化されることで、教室が共有できるなど校舎の効率的な活用ができる。(C、C1、D 案共通)
- ・小中学校を複合化することによる大きな改革や、それに伴うコスト削減効果が得られることは良い。(C、C1、D 案共通)

公民館と児童館が複合化することで世代を超えた交流が生まれる拠点になる。

- ・公民館と児童館が同じ敷地になるならば、子どもから高齢者まですべての世代が集まる拠点ができる。子どもとお年寄りだけでなく、中学生・高校生、若い親なども集まる魅力的な多世代拠点にしてほしい。(C、C1 案共通)

公民館が形原小敷地に移転することで高潮の危険がなくなり、防災の点から評価できる。

- ・公民館が形原北小学校の方に移転することで、高潮の危険性がなくなる。防災の観点から公民館が移転されているのが良い。

高潮の危険だけでなく、小中学校の部活動の廃止問題を考えると、学校と地域との交流は待ったなしであるため、公民館は耐用年数を待たず早期に移転した方が良い。

- ・耐用年数を待たずとも公民館の移動は早い方がよい。高潮の心配だけではなく、小中学校の部活動の廃止問題を考えると、公民館活動等地域との交流は待ったなしではないかと考える。(B1、C1 案共通)

【懸念・付帯事項】

児童館、公民館が形北小学区に移転することは地域全体の配置バランスとして良くないのではないか。

- ・児童館及び公民館が形北エリアに移転することは地域全体から見た配置のバランスとしては良くないのではないか。

形北小の児童だけが中学校入学時に合流するのは良くないと思う。

- ・形北小児童だけが中学校入学時に合流するのは良くないと思う。(C、C1、D 案共通)

形北小の児童が中学校から合流する際に学校に馴染めるよう交流会などする必要がある。

- ・形北小の児童が中学校から合流することになるので、その前に交流会をするなどして学校に馴染めるようにする必要がある。(C、C1、D 案共通)

小中一貫教育になった場合、形原小の児童が中学校から合流することで教育カリキュラムに差が出てしまうのではないかと不安があるので、そうならないようにする必要があります。

- ・仮に小中一貫教育になった場合、形北小が中学から編入することで教育のカリキュラムに差が出てしまうのではないかと不安があるのでそうならないようにしてほしい。(C、C1、D案共通)

雨天時など異年齢の子どもが体育館を共有する際に危険が生じないよう工夫してほしい。

- ・雨天時などに中学生と小学生や保育園児が同じ体育館で運動することになるなら、体格差があつて危ないので、なんらかの工夫を行ってほしい。(C、C1、D案共通)

形原小が中学校敷地に移転すると、通学距離が遠くなる地区もあるので、対策が必要ではないか。

- ・形原小が現在の位置から移転することで、通学距離が遠くなってしまふような地区から、不公平感の声が出るかもしれない。(C、C1、D案共通)
- ・形原小が中学校敷地に移転すると、南端の小学生が歩いて通学するのが遠くなってしまふ。(C、C1、D案共通)
- ・高齢者による通学の見守りサポーターを充実させる。高齢者に見守りポイントを付与するなど。(C、C1、D案共通)
- ・形原小が中学校敷地に移転して遠くなる。少子化で遠くから小学生が一人で通うことにならないか心配である。(C、C1、D案共通)
- ・幸田町のようにスクールバスの運行を検討してほしい。(C、C1、D案共通)

保育園から中学校が複合化するので、災害時に世代を超えた助け合いができるようにする必要があります。

- ・保育園から中学校までが複合化するので災害時に誰がどう動くか？の訓練を日ごろからしっかり行っておく必要がある。中学生が保育園児を助けるなど、世代を超えて助け合えるように防災訓練を行っておくのが良い。(C、C1案共通)

公民館が移転した際に現在と同程度の駐車場スペースの確保が必要だ。

- ・現在の公民館は広い駐車場スペースがあり、利用率も高い。移転した際に同様の駐車場スペースが確保できるかどうか心配。(B1、C、C1案共通)

(7) D案

【期待すること・選択した理由】

小学校と中学校の複合は教室の共有などコスト削減効果が得られる。

- ・小学校と中学校が複合化されることで、教室が共有できるなど校舎の効率的な活用ができる。(C、C1、D案共通)
- ・小中学校を複合化することによる大きな改革や、それに伴うコスト削減効果が得られることは良い。(C、C1、D案共通)

保育園は送迎を考えると駐車場の確保が大切。形原小学校の敷地があれば十分な駐車スペースを確保できる。

- ・保育園は送迎などを考えると駐車場の確保が大切だと考える。形原小学校の敷地があれば十分な駐車場スペースが確保できる。

双太山公園にある児童館は景観と環境が良いので今の場所が良い。

- ・現在の双太山公園にある児童館は景色がよく環境も良いので、今の場所がよい。(A、B、B1、D案共通)

【懸念・付帯事項】

保育園と児童クラブが離れている点がマイナス要素となる。

- ・保育園と児童クラブが離れているのでマイナス要素となる。

形北小の児童だけが中学校入学時に合流するのは良くないと思う。

- ・形北小児童だけが中学校入学時に合流するのは良くないと考える。(C、C1、D案共通)

形北小の児童が中学校から合流する際に学校に馴染めるよう交流会などする必要がある。

- ・形北小の児童が中学校から合流することになるので、その前に交流会をするなどして学校に馴染めるようにする必要がある。(C、C1、D案共通)

小中一貫教育になった場合、形原北小学校の児童が中学校から合流することで教育カリキュラムに差が出てしまうのではないかと不安があるので、そうならないようにする必要がある。

- ・仮に小中一貫教育になった場合、形北小が中学から編入することで教育のカリキュラムに差が出てしまうのではないかと不安があるのでそうならないようにしてほしい。(C、C1、D共通)

雨天時など異年齢の子どもが体育館を共有する際に危険が生じないように工夫してほしい。

- ・雨天時などに中学生と小学生や保育園児が同じ体育館で運動することになるなら、体格差があつて危ないので、なんらかの工夫を行ってほしい。(C、C1、D 案共通)

公民館は高潮の危険はあるものの、建設して日が浅いので現状の位置で良い。

- ・現公民館は高台に移転する方向性は良いが、現実的に建設してからあまり時間が経っておらず、高潮の危険性はあるものの、まだ新しいので現状の位置で良い。(A、B、D 案共通)

公民館が移転しないならば、防災に関する情報を正しく周知するための工夫が必要。

- ・公民館が移転しないのであれば、防災面での連携を周知するための工夫が必要。回覧板だけでは周知されていないので、保育園や小学校を通じて各家庭に災害時の避難場所や避難経路についてなど周知する必要がある。(地域避難所と一時避難所の違いなど) (A、B、D 案共通)

形原小が中学校敷地に移転すると、通学距離が遠くなる地区もあるので、対策が必要ではないか。

- ・形原小が現在の位置から移転することで、通学距離が遠くなってしまふような地区から、不公平感の声が出るかもしれない。(C、C1、D 案共通)
- ・形原小が中学校敷地に移転すると、南端の小学生が歩いて通学するのが遠くなってしまふ。(C、C1、D 案共通)
- ・高齢者による通学の見守りサポーターを充実させる。高齢者に見守りポイントを付与するなど。(C、C1、D 案共通)
- ・形原小が中学校敷地に移転して遠くなる。少子化で遠くから小学生が一人で通ふことにならないか心配である。(C、C1、D 案共通)
- ・幸田町のようにスクールバスの運行を検討してほしい。(C、C1、D 案共通)

(8) 全ての案に共通する付帯事項(再配置を進めるうえで配慮すべき事項)

①多様な人々との交流

中学生は自発的な意見を活かせば役割を發揮できる世代でもあるので、うまくコーディネートできると良い。

- ・中学生は思春期の難しい年頃ではあるが、自発的な意見を生かせば役割を發揮できる世代でもあるので、うまくコーディネートできれば交流の担い手になる。

小学校に公民館機能を持たせる際に、学校施設を利用できるなど運営面で柔軟な対応をしてほしい。

- ・小学校での公民館活動では校内の調理室や教室を使用できるようにし、予約することでのような活動が出来るようにしてほしい。
- ・小学校での公民館活動では、空き教室を柔軟に利用できるよう運用面で配慮してほしい。

世代を超えた共同作業ができる行事や機会を増やしてほしい。ソフトやプログラムの充実が必要。

- ・世代を超えて野菜づくりをするなど共同作業をする行事や機会を増やしてほしい。
- ・公民館における世代間交流については、場所の話よりもソフト面やプログラムの充実を図ることで交流を深めていった方が良い。
- ・具体的には、子ども達が気軽に利用できるよう、学校側と公民館側の情報交流を進めていくことや、公民館での既存のサークル(例：陶芸教室等)との交流等が考えられる。

学校支援員の活動内容を充実させることで、適切な交流が図られる可能性がある。

- ・学校支援員の活動内容の充実があれば、複合しても安心して適切な交流が図れる可能性がある。

公民館には調理室がなく不便。調理室の増築などを検討してもらえると、更に多様な交流が生まれる。

- ・現在の公民館には調理室がないので不便だ。調理できる部屋を増築するとかして対応いただけると今以上に多様な交流が生まれる。

②子育てしやすい環境づくり

児童クラブは利用希望が増えても受け入れられるように十分なスペースを確保してほしい。

- ・すべての案で児童クラブが小学校内に設置されることになっている。児童クラブの要望が増えても受け入れられるように十分なスペースを確保してほしい。

③子ども達の居場所づくり

子どものことを考慮し、あえて遠くの保育園に通わせている保護者もいるので、子どもが保育園から小学校へスムーズに入学できるような工夫が必要。

- ・形原保育園地区在住でも形原南保育園に通わせている保護者もいる。理由は形原南保育園の園児は全員が形原小学校に入学するので、子どもの関係が途切れないが、形原保育園の園児は形原小と形原北小に分かれることがあるため。

④地域の活性化

文化広場は引き続き地域活用の方向性を検討してほしい。

- ・全市利用施設である「文化広場」については、引き続き“地域活用としての方向性”を検討してほしい。

地域の文化継承を大切にしたい。

- ・エーン曳、子ども神輿、ちゃらぼこ、獅子舞など、地域の文化継承を大切にしたい

⑤高齢者の活躍

4月から子ども会が復活する。親に代わり高齢の役員が子ども会の運営を担っていく予定。

- ・4月から子ども会を復活させる。親に代わり高齢の役員が子ども会運営を担っていく予定。

⑥安全・安心

保育園と小学校の複合では、お迎え時の車の導線の確保と安全性の確認が必要。

- ・保育園と小学校を複合化する場合、駐車場と共に導線の確保・確認が必要。
- ・保育園と小学校の複合化では、児童とお迎えの車など導線を分ける必要がある。

⑦利便性の向上

保育園が遠くなる地区の方が送迎に不便が生じない配慮をしてほしい。

- ・形原南保育園がすべての案で廃止されることになっている。保育園が遠くなる地区もあるので、送迎に不便が生じないように配慮してほしい。
- ・固定費（維持費）削減を考慮する必要があると思うが、民間幼稚園のように通園バスの機能を活用するなどして、保育園児の送迎に対処するのはどうか。

⑧効率的な施設配置

2. その他

形原小学校区は公園がなく、支所跡地を公園にするのはどうか。

- ・支所跡地を公園にするのはどうか。形原小学校周辺には公園がなく、ボール遊びなどは禁止して、未就園児が安心して遊べる、高齢者がゆっくり日向ぼっこをするなど、くつろげる場とするのが良い。

保育園と小学校では行政の所管が異なるため、管理や責任について問題が生じないようにしてほしい。

- ・保育園と小学校では所管が違うため複合化した際の管理や責任について問題が生じないだろうか。

形原公民館は講座内容など蒲郡でいちばんソフト事業が充実していると思う。

・形原公民館は、講座の内容など、蒲郡でナンバー1のソフト事業の充実を誇っていると思う。

双太山公園のトイレが和式なので洋式トイレになるとよい。

・双太山公園のトイレが和式で子どもが使えないと言っていた。足腰の悪い高齢者にも使い勝手が悪い。洋式トイレになるとよい。

【総括】

形原地区は、地域の担い手不足が減少している現状から、将来的な地域の伝統継承や繋がりを維持していくことを重視する意見が多くあがった。特に、近年では新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地域行事が行えていないことを踏まえ、人の繋がりや交流を生む案や、今後地域を担っていく若い世代の支援として、子育て面を重視した案に期待が集まった。

子ども同士の交流の充実や保育園から小学校へのスムーズな就学、保護者の送迎時の負担軽減という観点から、保育園と小学校、児童クラブを集合したいという意見が多数寄せられた。中でも、小学生の通学距離を考慮し現在の小学校敷地で集合するB・B1案に多くの期待が寄せられた一方、形原小学校敷地に保育園も集合することについて、敷地の狭さを懸念する意見もあった。

また、保育園児から高齢者までの多世代交流を望む声も多く、中学校、小学校、保育園、地域との連携拠点が集合するC案にも期待が集まった一方、形原小学校が中学校敷地に移転することで、児童の通学距離が伸びることを心配する声や、形原小学校のみが中学校と集合することで、形原北小学校と教育面で差が生じないか懸念する意見もあった。

その他、現在の形原小学校の敷地に保育園を移転することで、広い園庭や駐車場を確保できそうなD案に期待する声もあった。

公民館や支所跡地も議論の中心にあがるが多かった。現在の公民館は、高潮の危険性を考慮して移転したいといった声や、学校と集合し、地域と学校との連携強化を期待する意見があった一方で、まだ新しい施設であるため、現状のままでよいといった意見や建て替えの時期が迫った際に状況等を踏まえ再検討すべきという意見もあった。

支所跡地は、形原駅前や形原小学校に隣接した立地を生かした活用を望む声が多かった。

以上のように様々なご意見をいただいたが、交通安全の推進、駐車場の確保、子育て環境の整備など、ワークショップ参加者が認識している課題には多くの共通点があった。特に、児童・生徒の通学の安全性など、子ども達に関する意見が多く出された。